

## 0 日本人観光客向け調査結果のまとめ

### 観光客像

#### <大通会場>

- ・観光客の男女比は1：2で、女性が男性の2倍である。
- ・道外客、道内客、市民客の比率は4：1：4で、道外客と市民客の比率はほぼ等しい。
  - 道外客：約50%が関東圏からの観光客。
  - 道内客：約60%が道央圏からの観光客。
  - 市民客：中央区が最も多いが、ほぼ各区に分散している。

#### <さとらんど会場>

- ・観光客の男女比は大通会場よりさらに開き、2：5と女性が男性の2倍以上。
- ・道外客、道内客、市民客の比率は2：1：4で、市民客が最も多い。
  - 道外客：約60%が関東圏からの観客。
  - 道内客：約75%が道央圏からの観光客。
  - 市民客：会場近隣の東区、北区からが半数以上を占める。
    - 市民客の約半数を占めるのは子供連れの30代。また、市民客全体を見ても7割が子供連れで訪れている。

### 消費動向（パック料金を除く札幌市内での消費金額）

- ・大通会場来場者の平均消費額は約18,000円。
- ・さとらんど会場来場者の平均消費額は約9,300円。

### 評価

#### <共通>

- ・両会場において、再来場意向・リピーター率は道外客が最も低く市民客が最も高い。
- ・性別を見ると、道外客、道内客においては男性の再来場意向が高く、市民客においては女性の再来場意向が高い。

#### <大通会場>

- ・道外客：リピーター率は15%程度。
- ・道内、市民客：リピーター率は約80%程度。リピーター率、再来場意向は年代が上がるにつれて高くなる傾向がある。
- ・市民が雪まつりを他人に勧める最大の理由は雪像がすばらしいから。

#### <さとらんど会場>

- ・道外客：再来場意向「ぜひ（再度）来たい」は10%以下と評価が低い。
- ・市民客：平均の再来場意向は大通会場と同程度であった。
- ・印象深かったコーナーは「氷のすべり台」「雪の迷路」だが、参加者の満足度に結びついたと考えられるのは「食堂・屋台村」「雪だるまづくり」「小・中雪像」「竹スキー製作体験」「スノーオブジェコンテスト」「雪だるま発送」。

### 雪まつりへの参加形態

- ・さとらんど会場来場者で企画に参加したい、手伝いたいと考えている市民は約13%。

### さとらんど会場への来場意向と交通手段

- ・道外客の半数以上が貸切バスでさとらんど会場を訪れている。道内、市民客では約80%が自家用車を利用。
- ・大通会場でのさとらんど会場来場意向者の約50%がシャトルバスを利用すると回答。

# 1 基本属性

## 1 - 1 大通会場来場者

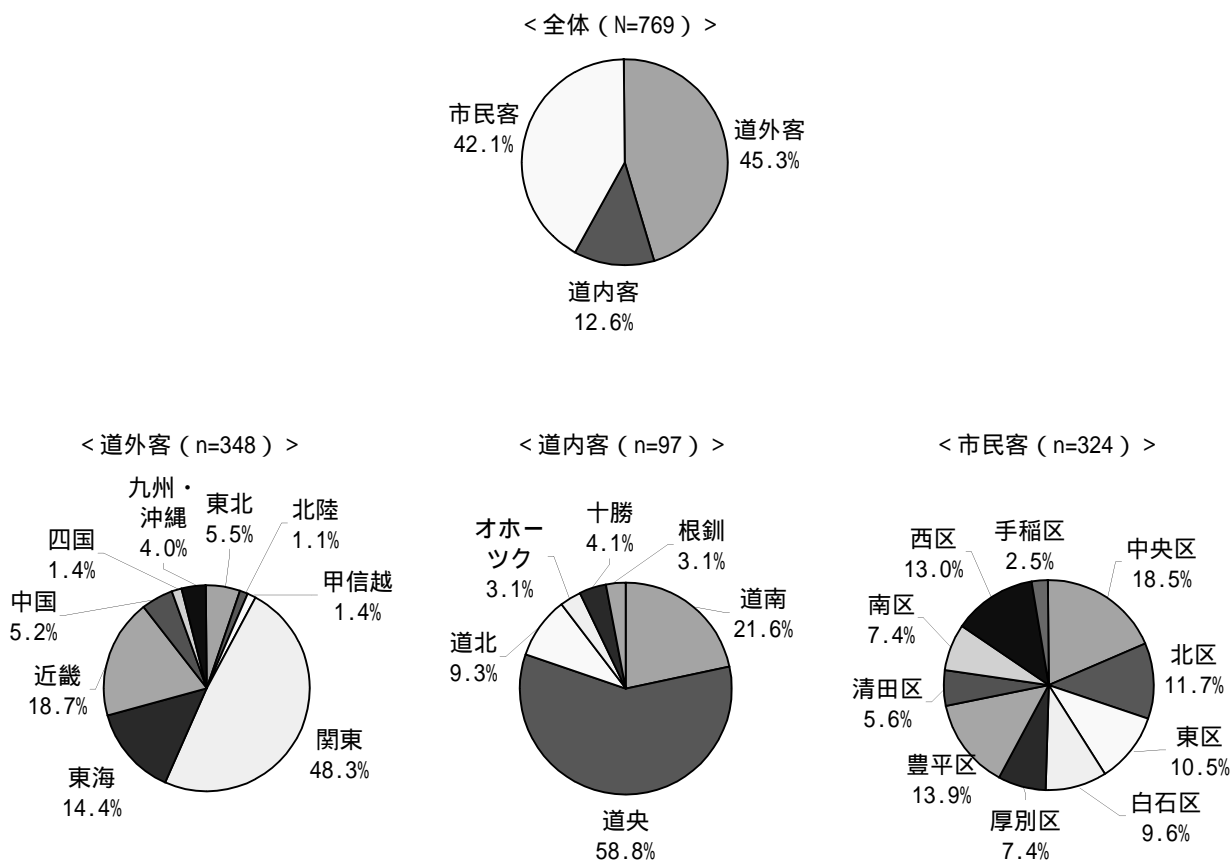
### 1) 居住地

居住地を聞いた設問によると、道外客 45.3%、市民客 42.1%とほぼ同数が訪れていることが分かった。

道外客については、関東が 48.3%と半数近くを占めている。次いで近畿の 18.7%、東海の 14.4%と続く。北海道を除く日本全体の人口に占めるこれら地域の人口比は、関東が 35.0%、近畿 17.6%、東海 12.7%、である（平成 17 年国勢調査による）。それと比較しても特に関東からの観客が多いことが分かる。

道内客は道央がもっとも多く 58.8%、次いで道南の 21.6%、道北の 9.3%となった。

市民客を見るとほぼ各区に分散しているが、大通公園がある中央区からの観客がもっとも多く 18.5%、以下、豊平区 13.9%、西区 13.0%と続く。



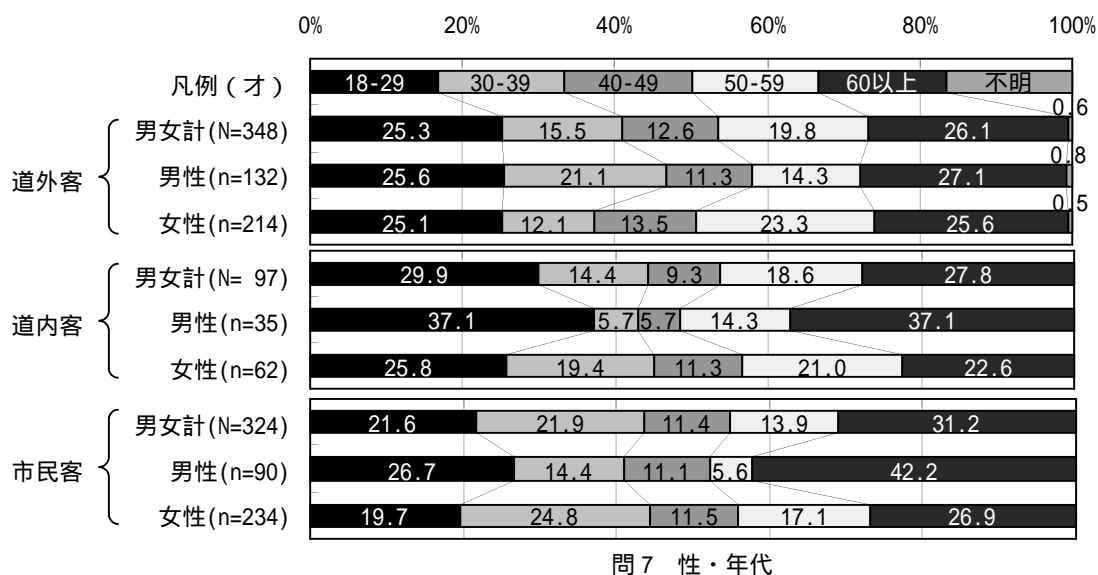
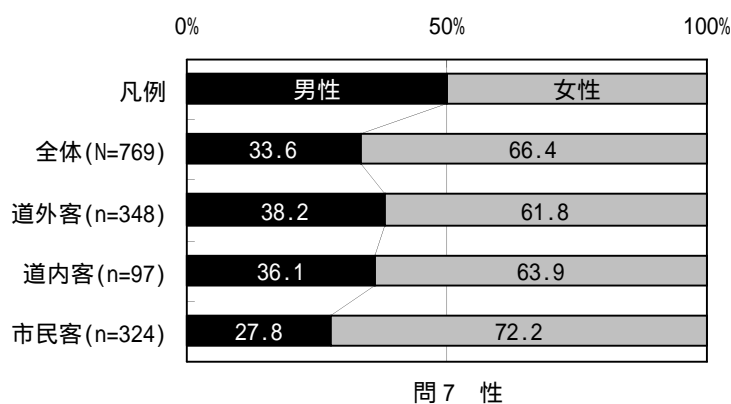
問 1 居住地

## 2) 性・年代

性別では、道外客、道内客で女性割合が60%以上、市民客では70%以上を占める結果となった。

年代を見ると、道外客では60代以上のシニア層が最も多く、道内客では30代未満の層が多かった。市民客ではシニア層が多かったのは道外客と同様であるが、次いで30代の層が多い結果となった。

なお、道内客、市民客男性について目に付くのは30代～50代男性の割合が少ないという点だが、これは調査が平日の日中であったことが影響していると思われる。



1 - 2 さとらんど会場来場者

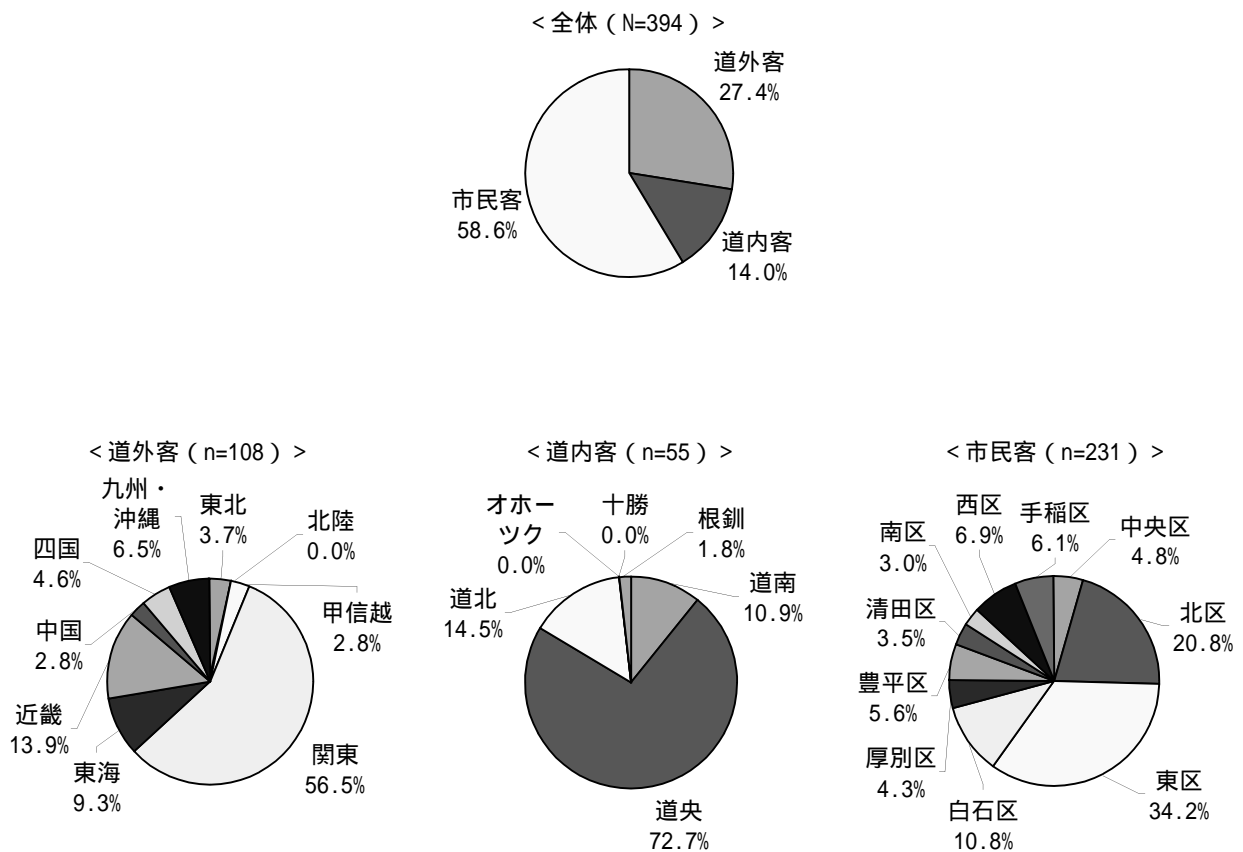
1) 居住地

市民客がもっとも多く過半数の 58.6%であったが、道外客も 4 分の 1 以上を占める結果となった。

道外客を見ると、関東からの観客の割合が大通会場よりも顕著に表れ、過半数の 56.5%となった。

道内客でも、大通会場で最も多い道央圏からの観客の割合がより増え、72.7%であった。

市民客は、さとらんど会場近隣の東区が最も多く、次点の北区と合わせて過半数を占める結果となった。大通会場で最も多かった中央区からの観客は 4.8%と大幅に減っている。



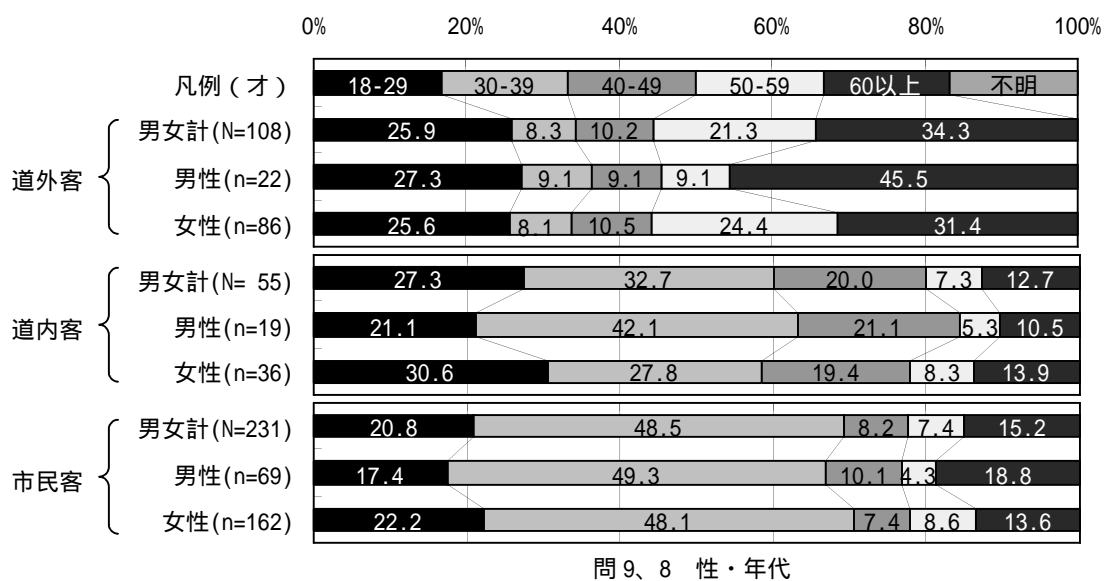
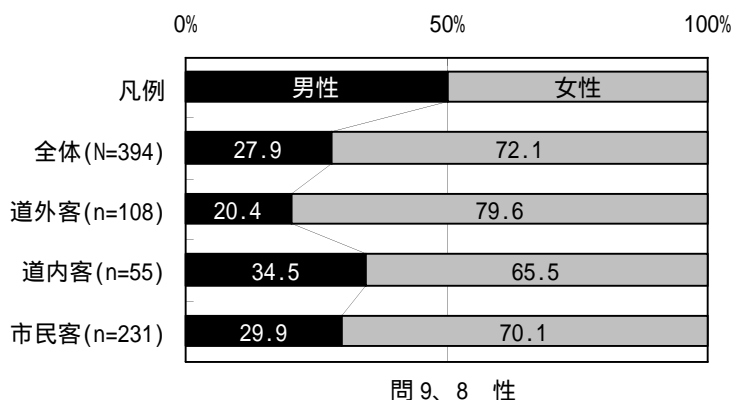
問1 居住地 (N=394)

## 2) 性・年代

特に道外客で女性の割合が高く、80%近くである。道内客、市民客では大通会場とほぼ同比率であった。

年代別を見ると、道外客では60代以上が最も高く大通会場よりその傾向は顕著である。大通会場と比べて貸切バス利用者比率が高い、すなわち団体ツアー比率が高いことが関係していると思われる。

道内客、市民客では30代の比率が高く、特に市民客では約半数を占める結果となった。

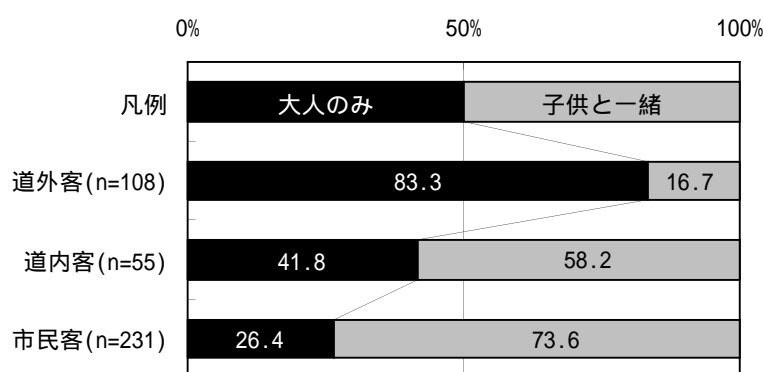


### 3) 同行者

さとらんど会場来場者に同行者を聞いた設問では、子供と一緒に来場する観光客の比率は、道外客 16.7%、道内客 58.2%、市民客 73.6%と、近隣になるに従って多くなる結果となった。

より細かく性・年代別に見ると、市民客の 30 代、40 代男性と 30 才未満、30 代女性の 80%以上が子供連れでさとらんどを訪れていることが注目される。

道内客も 30 代男性のほとんど、同じく 30 代女性の全員が子供連れであるなど、ほぼ同様の傾向を示している。道外客についても、サンプル数は少ないものの、30～40 代女性の過半数が子供連れで旅行していることが注目される。



問3、2 さとらんど会場の同行者〔×居住地別〕

	道外客			道内客			市民客		
	調査数	大人のみ	子供と一緒に	調査数	大人のみ	子供と一緒に	調査数	大人のみ	子供と一緒に
男性平均	22	86.4	13.6	19	36.8	63.2	69	26.1	73.9
男性 18～29才	6	100.0	0.0	4	75.0	25.0	12	50.0	50.0
30～39才	2	50.0	50.0	8	12.5	87.5	34	5.9	94.1
40～49才	2	50.0	50.0	4	25.0	75.0	7	14.3	85.7
50～59才	2	50.0	50.0	1	0.0	100.0	3	33.3	66.7
60才以上	10	100.0	0.0	2	100.0	0.0	13	61.5	38.5
女性平均	86	82.6	17.4	36	44.4	55.6	162	26.5	73.5
女性 18～29才	22	95.5	4.5	11	45.5	54.5	36	19.4	80.6
30～39才	7	14.3	85.7	10	0.0	100.0	78	6.4	93.6
40～49才	9	33.3	66.7	7	57.1	42.9	12	33.3	66.7
50～59才	21	100.0	0.0	3	66.7	33.3	14	78.6	21.4
60才以上	27	92.6	7.4	5	100.0	0.0	22	72.7	27.3

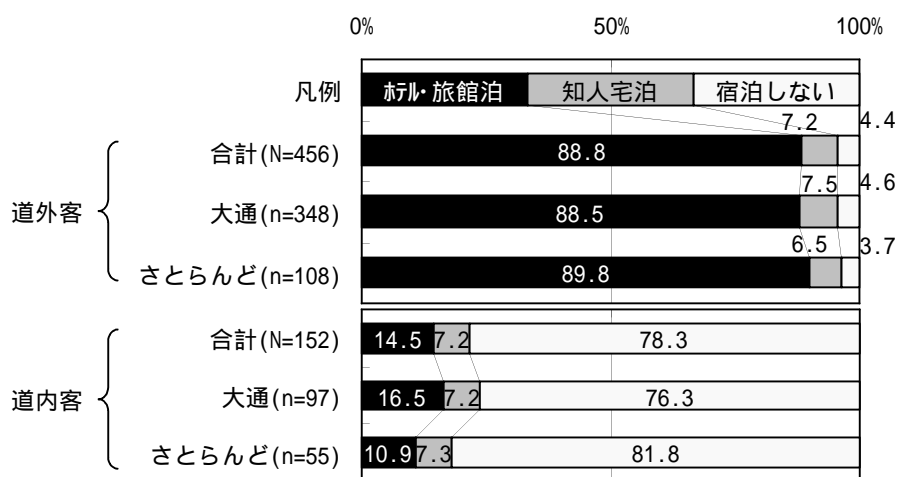
網掛部分は「子供と一緒に」について比率50%以上のもの

問3、2 さとらんど会場の同行者〔×性・年代別、居住地別〕

## 2 宿泊

### 2 - 1 宿泊先

宿泊先を聞いた設問では、会場別で大きな差異は見られなかった。道外客の約 90%がホテル・旅館に宿泊していることがわかった。また、道内客の約 80%が日帰りであった。

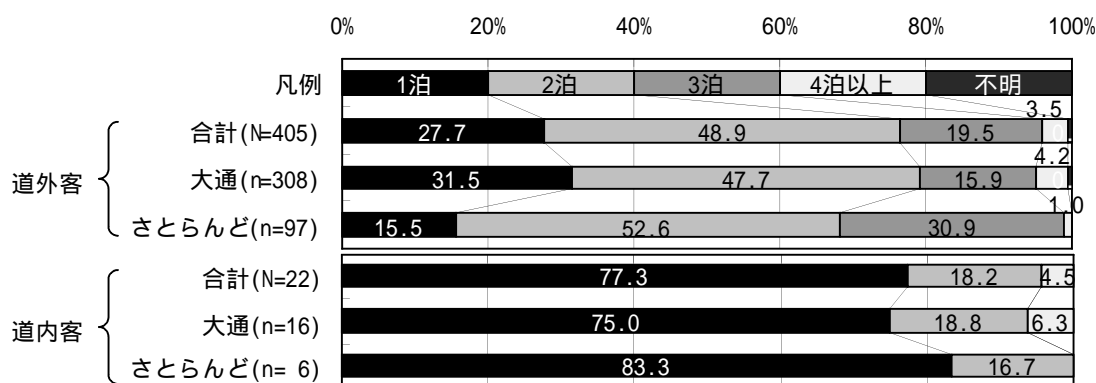


問2 宿泊先〔×会場・居住地別〕

### 2 - 2 ホテル・旅館の宿泊数

宿泊数をホテル・旅館への宿泊者について見ると、道外客のほぼ半数が2泊であった。会場別の傾向としては、大通会場を訪れる道外客は1~2泊であることに對し、さとらんど会場を訪れる道外客は2~3泊と若干宿泊数が多いことが挙げられる。

また、道内客では約80%が1泊であった。



問2 ホテル・旅館宿泊数〔×会場・居住地別〕

## 4 大通会場の評価

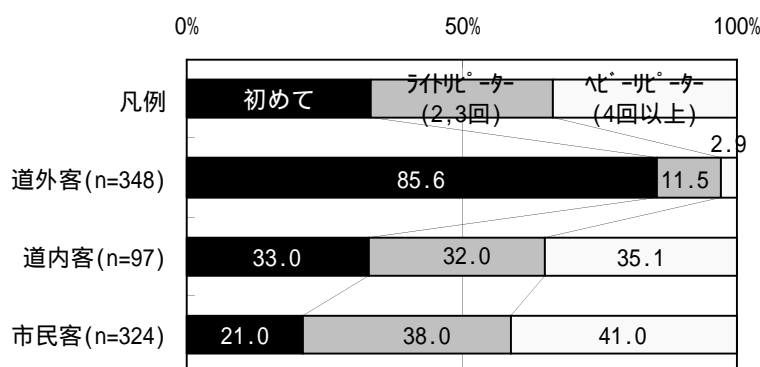
### 4 - 1 来場回数

#### 1) 居住地別

道外客には過去 10 年間の、道内・市民客には過去 5 年間の来場回数を聞いた。

道外客は初めて雪まつり会場に来る人が約 85%を占めており、リピーターは 15%以下しかないということが明らかになった。

逆に道内客、市民客ではリピーターがそれぞれ約 70%、約 80%を占め、さらにほぼ毎年雪まつりを訪れるヘビーリピーターが最も多い結果となった。



問 4、3 過去 10 年間(道外客)/5 年間(道内・市民客)の雪まつり来場回数〔×居住地別〕

#### 2) 性・年代別

より詳細に性・年代別を見ると、道外客では男女とも 50 代以上で若干リピーター率が上がっているが、いずれの世代でも「初めて」の割合が 7 割以上となっている。

道内客、市民客では、年代を重ねるにつれリピーター率が上がっている。

	大通道外客				大通道内客				大通市民客			
	調査数	初めて	ライトリピーター (2,3回)	ヘビーリピーター (4回以上)	調査数	初めて	ライトリピーター (2,3回)	ヘビーリピーター (4回以上)	調査数	初めて	ライトリピーター (2,3回)	ヘビーリピーター (4回以上)
全体	348	85.6	11.5	2.9	97	33.0	32.0	35.1	324	21.0	38.0	41.0
男性平均	133	84.2	12.0	3.8	35	22.9	34.3	42.9	90	23.3	33.3	43.3
男性 18~29 才	34	94.1	5.9	0.0	13	46.2	30.8	23.1	24	50.0	25.0	25.0
30~39 才	28	85.7	7.1	7.1	2	50.0	0.0	50.0	13	30.8	61.5	7.7
40~49 才	15	93.3	0.0	6.7	2	0.0	50.0	50.0	10	10.0	50.0	40.0
50~59 才	19	78.9	15.8	5.3	5	0.0	80.0	20.0	5	40.0	40.0	20.0
60 才以上	37	73.0	24.3	2.7	13	7.7	23.7	69.2	38	5.3	23.7	71.1
女性平均	215	86.5	11.2	2.3	62	38.7	30.6	30.6	234	20.1	39.7	40.2
女性 18~29 才	54	92.6	5.6	1.9	16	62.5	25.0	12.5	46	21.7	56.5	21.7
30~39 才	26	88.5	3.8	7.7	12	25.0	58.3	16.7	58	27.6	50.0	22.4
40~49 才	29	100.0	0.0	0.0	7	28.6	28.6	42.9	27	25.9	44.4	29.6
50~59 才	51	86.3	11.8	2.0	13	38.5	30.8	30.8	40	15.0	27.5	57.5
60 才以上	55	72.7	25.5	1.8	14	28.6	14.3	57.1	63	12.7	23.8	63.5

網掛部分は比率 40%以上のもの

問 4、3 過去 10 年間(道外客)/5 年間(道内・市民客)の雪まつり来場回数〔×性・年代別、居住地別〕



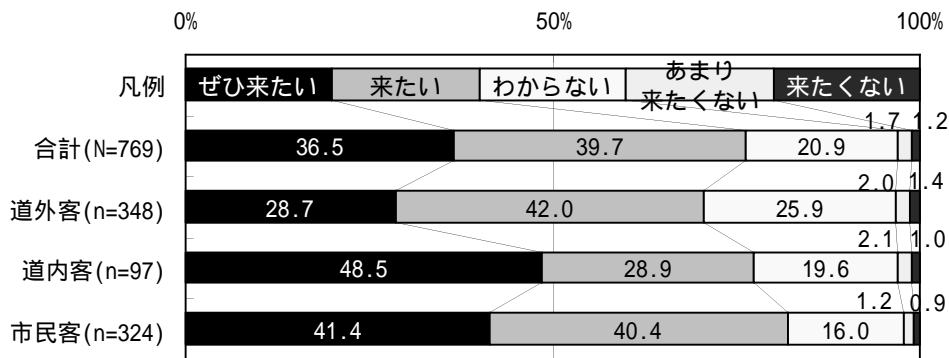
## 4 - 2 再来場意向

### 1) 居住地別

観光客に再来場意向を聞いた。

観光において、同じ場所には「ぜひまた行きたい」と思わなければ自分から積極的に行こうとしないものである。よって、ここでは「ぜひ来たい」と「わからない」以降の比率に注目する。

「ぜひ来たい」の回答率を見ると、道外客では28.7%であり、市民客より10%以上、道内客より約20%も低い結果となった。「わからない」以降の比率は逆で、道外客は市民客より約10%、道内客より約5%高い。



問5、4 雪まつり（大通会場）への再来場意向〔×居住地別〕

### 2) 性・年代別

より詳細に性・年代別で見ると、道外客では50代以上の男性と30代以上の女性で「わからない」以降が「ぜひ来たい」を上回っている。

道内客では50代の男性以外すべての年代において「ぜひ来たい」が上回っている。

市民客を見ると、40才未満の男性と40代の女性で「わからない」以降が上回っているが、年代を重ねるにつれ「ぜひ来たい」の比率が高まっていることが注目される。

	大通道外客			大通道内客			大通市民客		
	調査数	ぜひ来たい	「わからない」以降の合計	調査数	ぜひ来たい	「わからない」以降の合計	調査数	ぜひ来たい	「わからない」以降の合計
男性平均	132	34.1	26.5	35	54.3	20.0	90	40.0	22.2
男性 18～29 才	34	41.2	23.5	13	53.8	30.8	24	16.7	33.3
30～39 才	28	35.7	10.7	2	100.0	0.0	13	23.1	30.8
40～49 才	15	40.0	33.3	2	0.0	0.0	10	30.0	30.0
50～59 才	19	21.1	36.8	5	0.0	40.0	5	40.0	20.0
60 才以上	36	30.6	33.3	13	76.9	7.7	38	63.2	10.5
女性平均	214	25.7	30.8	62	13.1	24.2	234	45.8	16.7
女性 18～29 才	54	35.2	18.5	16	56.3	18.8	46	32.6	15.2
30～39 才	26	23.1	26.9	12	50.0	16.7	58	37.9	10.3
40～49 才	29	24.1	37.9	7	28.6	14.3	27	25.9	33.3
50～59 才	50	20.0	34.0	13	46.2	38.5	40	42.5	17.5
60 才以上	55	23.6	38.2	14	35.7	28.6	63	58.7	15.9

網掛部分は比率30%以上のもの

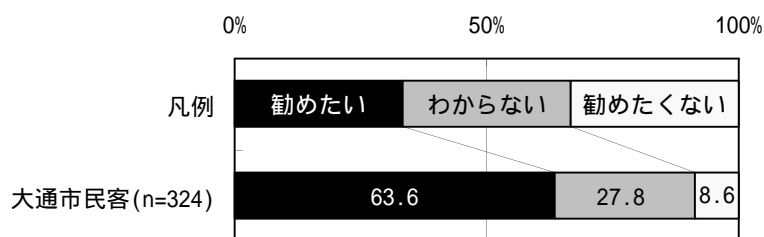
問5、4 雪まつりへの再来場意向〔×性・年齢別、居住地別〕

#### 4 - 3 市民は雪まつりを他の人に勧めるか

##### 1) 性・年代別

大通会場を訪れた市民客に、知り合いに雪まつり見物を勧めるかどうか、また、その理由を聞いた。結果、「勧めたい」が63.6%、勧めたくないが8.6%となった。

「勧めたい」の比率は、男性では50代以上、女性については39才までと60代以上で全体平均より高くなっている。「勧めたくない」を見ると、男性では18~29才と40代で、女性では50代以上で全体平均より高くなっている。



問6 知り合いに雪まつり見物を勧めるか

	調査数	勧めたい	わからない	勧めたくない
男性平均	90	62.2	30.0	7.8
男性 18~29才	24	58.3	29.2	12.5
30~39才	13	61.5	38.5	0.0
40~49才	10	50.0	30.0	20.0
50~59才	5	80.0	20.0	0.0
60才以上	38	65.8	28.9	5.3
女性平均	234	64.1	26.9	9.0
女性 18~29才	46	69.6	28.3	2.2
30~39才	58	70.7	22.4	6.9
40~49才	27	55.6	37.0	7.4
50~59才	40	50.0	32.5	17.5
60才以上	63	66.7	22.2	11.1

「勧めたい」「勧めたくない」の網掛部分は全体平均を上回るもの

問6 知り合いに雪まつり見物を勧めるか〔×性・年代別〕

##### 2) 理由

勧める理由としては「雪像がすばらしいから」を挙げる人が最も多く、「景色、イルミネーションがきれいだから」「恒例行事、冬の大イベントだから」と続く。

「勧めたくない」理由としては「雪像の数、規模が減ったから」「みんな知っているから」「高齢だから」などが挙げられている。

勧めたい理由	勧めたくない理由
雪像がすばらしいから、感動したから(66)	雪像の数、規模が減ったから(5)
景色、イルミネーションがきれいだから(37)	みんな知っているから(5)
恒例行事、冬の大イベントだから(35)	高齢だから(2)
札幌の地域活性化のために(13)	寒いから(2)
他地域の人にアピールしたいから(11)	遠いから(2)

問6 知り合いに雪まつり見物を勧めたい、勧めたくない理由(主なもの)

## 5 さとらんど会場の評価と交通手段

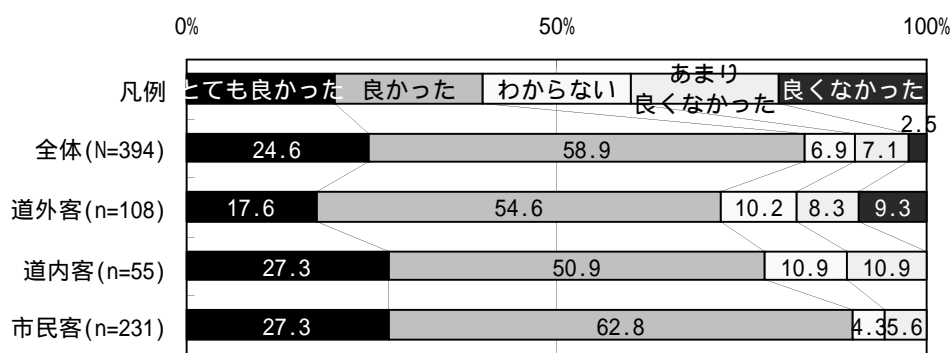
### 5 - 1 評価

#### 1) 居住地別

さとらんど会場来場者に感想を聞いた設問については「とても良かった」と「わからない」以降の比率により検討する。

道外客では「とても良かった」の比率を「わからない」以降の比率が上回っており、「良くなかった」との回答も 9.3% あった。

道内・市民客を見ると「とても良かった」の比率は同じ 27.3% だったが、道内客の「わからない」以降の比率は市民客の 2 倍以上である。



問 6、5 さとらんど会場の感想〔×居住地別〕

#### 2) 性・年代別

道外客男性では「とても良かった」と回答した人はわずか 1 名であった。女性では 18～49 才で「とても良かった」が「わからない」以降を上回っているが、50 代以降で逆転しており、特に 60 代以上では 5 割近くが「わからない」「あまり良くなかった」「良くなかった」と答えている。

道内女性客を見ると、18～29 才と 60 代以上で「とても良かった」が「わからない」以降を上回っているが、30～50 代では「わからない」が上回っている。男性はサンプル数が少ないので年代別の分析はできないが、おおむね「とても良かった」の比率が上回っている。

他と全く違った傾向を示しているのが市民女性客で、いずれの年代においても「とても良かった」の比率が上回っている。60 才以上は道外女性客と対称的に「とても良かった」と半数が回答している。市民男性客もおおむね「とても良かった」が多い。

	道外客			道内客			市民客		
	調査数	とても良かった	「わからない」以降の合計	調査数	とても良かった	「わからない」以降の合計	調査数	とても良かった	「わからない」以降の合計
男性平均	22	4.5	22.7	19	31.6	26.3	69	21.7	14.5
男性 18～29 才	6	0.0	16.7	4	75.0	25.0	12	33.3	25.0
30～39 才	2	0.0	0.0	8	0.0	25.0	34	14.7	14.7
40～49 才	2	0.0	50.0	4	25.0	25.0	7	28.6	0.0
50～59 才	2	0.0	0.0	1	0.0	100.0	3	0.0	33.3
60 才以上	10	10.0	30.0	2	100.0	0.0	13	30.8	7.7
女性平均	86	20.9	29.1	36	25.0	19.4	162	29.6	8.0
女性 18～29 才	22	27.3	22.7	11	54.5	9.1	36	25.0	11.1
30～39 才	7	28.6	0.0	10	10.0	30.0	78	25.6	5.1
40～49 才	9	33.3	0.0	7	14.3	28.6	12	25.0	8.3
50～59 才	21	9.5	33.3	3	0.0	33.3	14	35.7	14.3
60 才以上	27	18.5	48.1	5	20.0	0.0	22	50.0	9.1

網掛部分は比率 25%以上のもの

問 6、5 さとらんど会場の感想〔×性・年齢別、居住地別〕

## 5 - 2 再来場意向

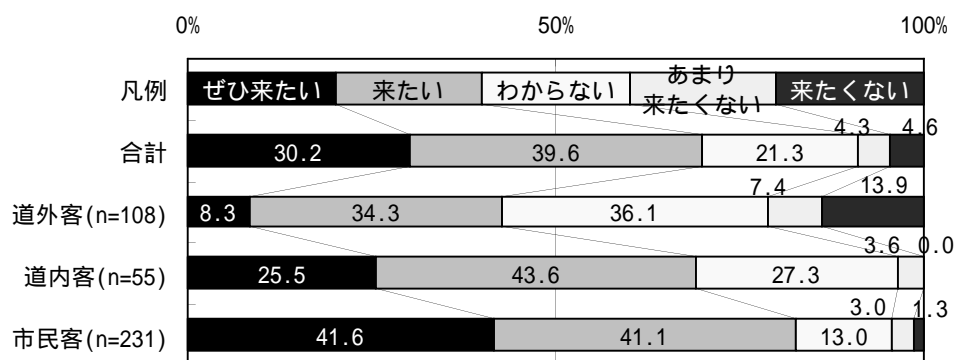
### 1) 居住地別

ここでも大通会場と同様に「ぜひ来たい」と「わからない」以降の比率に注目する。道外客、道内客、市民客と近隣になるほど「ぜひ来たい」の比率が上がり、「わからない」以降の比率が減少する傾向がある。

道外客では「ぜひ来たい」と答えた人はわずか 8.3%しかおらず、「わからない」以降は半数を越え明確に「来たくない」と答えた人も 10%を越える結果となった。

道内客を見ると「わからない」以降の比率が「ぜひ来たい」を約 5%上回っているが、サンプル数が少ないためほぼ同数と考えてよい。

市民客では約 40%が「ぜひ来たい」と回答している。また「来たい」も約 40%、「わからない」以降は約 20%であるが、これは大通会場の市民客の再来場意向とほぼ等しい数値である。



問 7、6 雪まつり（さとらんど会場）への再来場意向〔×居住地別〕

## 2) 性・年代別

ここでも道外男性客で「ぜひ来たい」と答えた人はわずか1名であった。女性についてはいずれの年代でも「わからない」以降が「ぜひ来たい」を上回っているが、高齢になるにつれて「わからない」以降が増える傾向がある。

道内女性客を見ると、18～29才で「ぜひ来たい」が「わからない」以降を上回り、60代以上では同数、30～50代では「わからない」が上回っている。男性はサンプル数が少ないので年代別の分析はできないが、おおむね「ぜひ来たい」が上回っている。

市民については、やはりこの設問でも全ての性・年代において再来場意向は高いという結果となった。

	道外			道内			市民		
	調査数	ぜひ来たい	「わからない」以降の合計	調査数	ぜひ来たい	「わからない」以降の合計	調査数	ぜひ来たい	「わからない」以降の合計
男性平均	22	4.5	68.2	19	31.6	26.3	69	34.8	24.6
男性 18～29 才	6	0.0	83.3	4	75.0	25.0	12	41.7	41.7
30～39 才	2	0.0	0.0	8	0.0	37.5	34	23.5	20.6
40～49 才	2	0.0	100.0	4	25.0	0.0	7	57.1	14.3
50～59 才	2	0.0	100.0	1	0.0	100.0	3	33.3	0.0
60 才以上	10	10.0	60.0	2	100.0	0.0	13	46.2	30.8
女性平均	86	9.3	54.7	36	22.2	33.3	162	44.4	14.2
女性 18～29 才	22	18.2	45.5	11	54.5	27.3	36	33.3	22.2
30～39 才	7	14.3	42.9	10	0.0	50.0	78	48.7	10.3
40～49 才	9	22.2	55.6	7	14.3	28.6	12	50.0	25.0
50～59 才	21	0.0	61.9	3	0.0	33.3	14	64.3	14.3
60 才以上	27	3.7	▼ 59.3	5	20.0	20.0	22	31.8	9.1

網掛部分は比率 30%以上のもの。

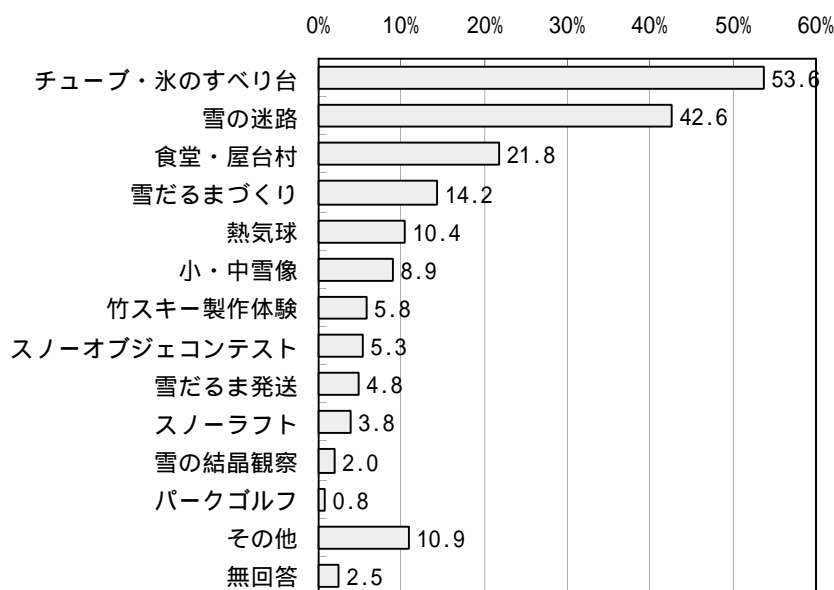
問7、6 雪まつりへの再来場意向〔×性・年齢別、居住地別〕

### 5 - 3 個別コーナーの評価

#### 1) 居住地別

さとらんど会場で「楽しかった、印象深かったコーナー」を聞いた。結果、「チューブ・氷のすべり台」「雪の迷路」「食堂・屋台村」が1～3番に挙げられた。

道外、道内、市民客ともこれらが挙げられているが、道外客では「氷のすべり台」ではなく「雪の迷路」が1番目に挙げられている。道外客は道内・市民客と比べて滞在時間がなく、待ち時間が長い「氷のすべり台」は敬遠されたためと考えられる。



問5、4 楽しかった、印象深かったコーナー (MA)

	調査数	チューブ・氷のすべり台	雪の迷路	食堂・屋台村	雪だるまづくり	熱気球	小・中雪像	竹スキー製作体験
全体	394	53.6	42.6	21.8	14.2	10.4	8.9	5.8
道外客	108	36.1	40.7	16.7	10.2	7.4	10.2	3.7
道内客	55	47.3	36.4	32.7	18.2	9.1	12.7	3.6
市民客	231	63.2	45.0	21.6	15.2	12.1	7.4	7.4

	調査数	スノーオブジェコンテスト	雪だるま発送	スノーラフト	雪の結晶観察	パークゴルフ	その他	無回答
全体	394	5.3	4.8	3.8	2.0	0.8	10.9	2.5
道外客	108	5.6	7.4	3.7	3.7	1.9	9.3	8.3
道内客	55	1.8	7.3	7.3	1.8	0.0	5.5	1.8
市民客	231	6.1	3.0	3.0	1.3	0.4	13.0	0.0

網掛部分は比率30%以上のもの

問5、4 楽しかった、印象深かったコーナー (MA) (×居住地別)

## 2) 性・年代別

性・年代別に見ると、男性の18～39才で「雪だるまづくり」が3番目に挙げられている。また、40代の男性・女性には「熱気球」も人気であった。50代以上の女性には「小・中雪像」も印象深かったようである。

	調査数	フュー・氷の すべり台	雪の迷路	食堂・屋 台村	雪だるま づくり	熱気球	小・中雪 像	竹スキー 製作体験
男性平均	110	191.8	152.7	78.2	50.9	37.3	31.8	20.9
男性18～29才	22	50.0	50.0	27.3	27.3	9.1	9.1	9.1
30～39才	44	61.4	36.4	15.9	22.7	4.5	4.5	0.0
40～49才	13	69.2	46.2	30.8	0.0	46.2	0.0	7.7
50～59才	6	50.0	33.3	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0
60才以上	25	48.0	52.0	28.0	16.0	8.0	12.0	8.0
女性平均	284	74.3	59.2	30.3	19.7	14.4	12.3	8.1
女性18～29才	69	60.9	36.2	26.1	20.3	2.9	7.2	2.9
30～39才	95	77.9	35.8	23.2	10.5	11.6	5.3	5.3
40～49才	28	46.4	39.3	21.4	14.3	25.0	14.3	17.9
50～59才	38	36.8	47.4	18.4	7.9	10.5	18.4	2.6
60才以上	54	11.1	59.3	13.0	7.4	7.4	13.0	9.3

	調査数	スノーブ ジェクト	雪だるま 発送	スノーラ フト	雪の結晶 観察	パークゴ ルフ	その他	ない
男性平均	110	19.1	17.3	13.6	7.3	2.7	39.1	9.1
男性18～29才	22	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0
30～39才	44	0.0	4.5	0.0	2.3	2.3	15.9	0.0
40～49才	13	7.7	0.0	23.1	0.0	0.0	0.0	7.7
50～59才	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
60才以上	25	4.0	12.0	8.0	0.0	0.0	16.0	4.0
女性平均	284	7.4	6.7	5.3	2.8	1.1	15.1	3.5
女性18～29才	69	7.2	4.3	1.4	0.0	0.0	5.8	0.0
30～39才	95	4.2	1.1	3.2	2.1	0.0	7.4	1.1
40～49才	28	10.7	10.7	7.1	3.6	0.0	7.1	0.0
50～59才	38	10.5	2.6	2.6	2.6	0.0	13.2	10.5
60才以上	54	5.6	11.1	3.7	5.6	3.7	24.1	5.6

網掛部分は得票が高かった上位3項目

問5、4 楽しかった、印象深かったコーナー（MA）〔×性・年齢別〕

#### 5 - 4 個別コーナーの評価への寄与度

ここではあるコーナーを「楽しかった、印象深かった」と答えた人の中でどのくらいの割合の人が、さとらんど会場の感想として「とても良かった」と答えたか、また、雪まつりへの再来場意向を聞く設問により「ぜひ来たい」と答えたかにより、いずれのコーナーがさとらんど会場への高評価につながったのかを検討する。

すると、高評価につながったと思われるコーナーは「食堂・屋台村」「雪だるまづくり」「小・中雪像」「竹スキー製作体験」「スノーオブジェコンテスト」「ゆきだるま発送」であった。これらは「楽しかった、印象深かったもの」として得票が3位以下のものである。「呼びもの」的な「氷のすべり台」「雪の迷路」ではなく、参加型のコーナーが多く入っていることが興味深い。

これは、「呼び物」的コーナーで会場に誘致し、来場者をうまく参加型コーナーに誘導するという会場のコンセプトと観客のニーズが合致したものと考えられる。

	調査数	問6 さとらんど会場の感想 「とても良かった」	問7 雪まつりへの再来場意向 「ぜひ来たい」
全体	394	24.6	30.2
氷のすべり台	211	23.2	34.6
雪の迷路	168	33.3	37.5
食堂・屋台村	86	38.4	50.0
雪だるまづくり	56	37.5	46.4
熱気球	41	26.8	36.6
小・中雪像	35	40.0	40.0
竹スキー製作体験	23	43.5	39.1
スノーオブジェコンテスト	21	47.6	47.6
雪だるま発送	19	47.4	42.1
スノーラフト	15	26.7	20.0
雪の結晶観察	8	0.0	0.0
パークゴルフ	3	0.0	0.0
その他	43	32.6	30.2

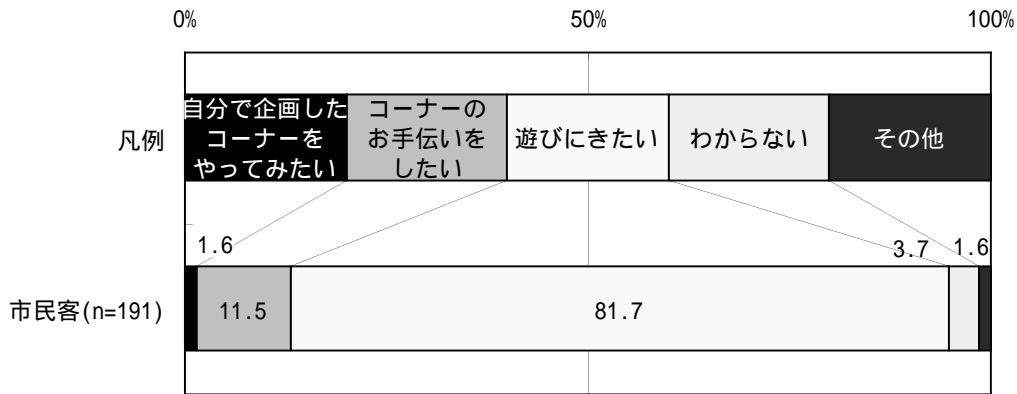
網掛部はそれぞれ比率が1～5番目のもの。

問5、4 楽しかった、印象深かったコーナー（MA）〔×さとらんど会場の感想、雪まつりへの再来場意向〕



## 5 - 5 雪まつりへの参加形態

来年以降もさとらんど会場に「ぜひ来たい」「来たい」と答えたさとらんど来場市民に希望する参加形態を聞いた設問では「遊びにきたい」が80%以上を占めた。しかし、「コーナーのお手伝いをしたい」と答えた人は11.5%存在する。一方「自分で企画したコーナーをやってみたい」は1.6%であった。



問 6-1 雪まつりへの参加形態

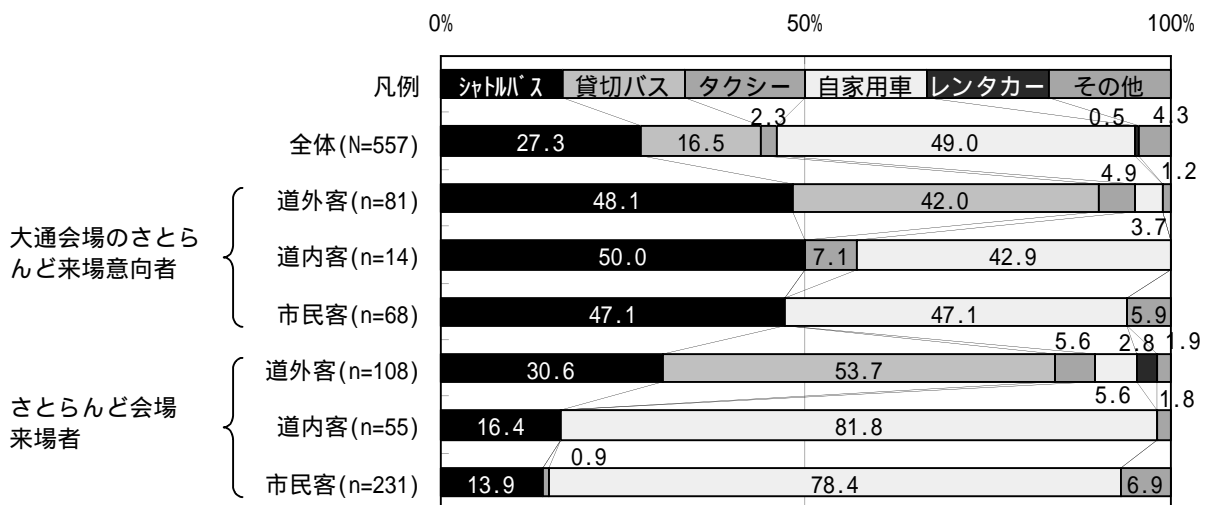
## 5 - 6 さとらんど会場への交通手段

### 1) 居住地別

大通会場ではさとらんど会場に「行く」と答えた人に、また、さとらんど会場では全員に交通手段を聞いた。

大通会場では、道外客、道内客、市民客いずれにおいても約50%がシャトルバスを利用するという結果となった。次に利用度の高い交通手段は、道外客で貸切バスが約40%であったが、道内客、市民客でそれぞれ約40%、約50%が自家用車を使うと答えた。

さとらんど会場を見ると、道外客ではシャトルバスの比率が約30%に下がり貸切バスの比率が約50%に上がっている。道内客、市民客ではシャトルバスの利用比率は15%前後に激減し、自家用車が約80%に増えている。



問 3-1、2-1、4、3 さとらんど会場への交通手段〔×居住地別、会場別〕

## 2) 性・年代別

実際にさとらんどに来場した道内客、市民客のシャトルバス、自家用車の利用率を年代別で見ると、特に40代以降の女性でシャトルバス利用率が高く、自家用車利用率が低い傾向がある。

	道内客			市民客		
	調査数	シャトルバス	自家用車	調査数	シャトルバス	自家用車
男性平均	19	10.5	84.2	69	7.2	89.9
男性 18～29 才	4	0.0	100.0	12	8.3	91.7
30～39 才	8	12.5	87.5	34	5.9	94.1
40～49 才	4	0.0	75.0	7	14.3	85.7
50～59 才	1	0.0	100.0	3	0.0	100.0
60 才以上	2	50.0	50.0	13	7.7	76.9
女性平均	36	19.4	80.6	162	16.7	73.5
女性 18～29 才	11	9.1	90.9	36	8.3	88.9
30～39 才	10	0.0	100.0	78	15.4	80.8
40～49 才	7	57.1	42.9	12	33.3	66.7
50～59 才	3	33.3	66.7	14	14.3	35.7
60 才以上	5	20.0	80.0	22	27.3	50.0

網掛部分は「シャトルバス」利用者については20%以上、「自家用車」については50%以下のもの。

問4、3 さとらんどに来場した道内・市民客の交通手段〔×性・年齢別、居住地別〕

## 3) 各區別

実際にさとらんど会場を訪れた市民客を各區別に見てみると、中央区のみでシャトルバス利用率が自家用車利用率を上回っていた。大通公園からの直通バスが利用されているのだと思われる。

	調査数	シャトルバス	自家用車		調査数	シャトルバス	自家用車
全体	231	13.9	78.4	豊平区	13	23.1	76.9
中央区	11	63.6	36.4	清田区	8	12.5	87.5
北区	48	10.4	89.6	南区	7	0.0	85.7
東区	79	7.6	70.9	西区	16	6.3	93.8
白石区	25	16.0	84.0	手稲区	14	7.1	92.9
厚別区	10	40.0	60.0				

網掛部分は「シャトルバス」利用者については20%以上、「自家用車」については50%以下のもの。

問3 さとらんどに来場した市民客の交通手段〔×各區別〕